

令和6年度

優良者表彰 被表彰者一覧

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1 | 優良児童生徒（157名） | （1ページ） |
| 2 | 優良児童生徒団体（98団体） | （21ページ） |
| 3 | 優良教職員（13名） | （32ページ） |
| 4 | 優良社会教育関係者（5名） | （35ページ） |

※名簿への掲載に同意された方を掲載しています。

1 優良児童生徒表彰（157名）

（1）小学生

番号	校名	氏名	表彰内容
1	高見小	石川 奈々	「スポーツデー」に向けて、休み時間に児童会の中心となって応援の練習に取り組んだり、仲間のやる気を引き出す声掛けをしたりする姿が見られた。児童会の活動に意欲的に取り組んだり、授業にも積極的に取り組んだりするなど、他の児童の模範となっている。
2	筒井小	山崎 楓果	児童会の中心となり、挨拶運動に率先して取り組むことで、児童が挨拶をしようという意識を高めることに貢献した。思いやりをもって挨拶することを大切にし、学校の雰囲気をよくしようと努めている。何事も精一杯行う姿勢が、全校児童の模範となっている。
3	明倫小	梶川 桐都	児童会活動の挨拶運動では、笑顔で挨拶しようと児童会メンバーを鼓舞して、多くの人に挨拶するなど、率先して取り組んでいた。ペア学年集会では、低学年の子も楽しく遊べるような教室遊びをたくさん提案し、先頭に立って準備や運営などを行っていた。
4	杉村小	勝間 ひなた	代表委員の一員として、挨拶運動におけるキャッチフレーズづくり、運動会における応援旗制作の発案、杉村小学校のマスコットキャラクターづくりの企画など、学校行事に主体的に関わることができた。強いリーダーシップを発揮し、よりよい学校づくりに貢献している。
5	楠西小	加藤 麻依亜	児童会スローガン「笑顔いっぱい心つながる楠西小」を達成しようと、挨拶ミッション活動や朝の挨拶運動を実施したり、全校児童集会を企画・運営したりした。児童、教職員、地域の方等、楠西小のみんなが笑顔で心つながる学校づくりに貢献した。
6	宮前小	植村 弥琴	児童会活動において、全校児童に気持ちの良い挨拶を広める「宮前スマイルデー」や縦割り活動「宮前っ子ラリー」の企画・運営を牽引した。学校のリーダーとして率先して活動し、周りの児童に優しく伝えることもできるため、周りからの信頼が非常に厚い。
7	庄内小	鈴木 莞太	学級委員や児童会の役員を歴任し、学校の中心となって活躍している。「あいさつビンゴカード」の活動を企画したり、「なごやINGキャンペーン」で劇を通していじめのない学校づくりを全校に訴えたりした。何事にも積極的に取り組む姿は、他の模範となっている。
8	牧野小	山下 日登美	児童会の中心となり、全校一人一人に対して積極的に「あいさつ運動」に取り組んだ。児童集会では、異学年交流をテーマに「牧野フェスティバル」を企画・運営した。企画を成功に導くために自主的・意欲的に努力する姿は、全校児童の模範となっている。

番号	校名	氏名	表彰内容
9	稲葉地小	内山 智美	児童会活動において、「あいさつ運動」では、挨拶のジェスチャーを考えたり、「あいさつレンジャー」を結成したりと、全校児童の模範となり、挨拶を呼び掛けることができた。児童集会では、みんなが楽しめるような活動を、企画・運営をすることができた。
10	八社小	杉山 湊琉	児童会の中心となり、常に全校的な視野で学校をよりよくしようと努めている。挨拶運動では、誰よりも大きな声を出して笑顔で挨拶をし、他の模範となって挨拶の素晴らしさを伝えることができた。また、全校児童集会に向け、多くの意見を出し、会の企画・運営をした。
11	栄小	伊藤 辰乃介	子ども主体で企画するスポーツフェスティバルでは、全校を盛り上げる工夫や声掛けをして活躍した。また、学級全体に関わる問題に対して、代表委員同士で解決策を話し合ったり、担任に相談したりするなど、よりよい学級づくりに向けて行動する姿が見られた。
12	橘小	浦部 葵	縦割り活動「ペアでチャレンジフェスティバル」では、児童会のリーダー的存在として、全校児童が楽しむことができるような企画・運営を行った。誰に対しても分け隔てなく接する優しさや責任感の強さ、一生懸命に取り組む姿勢は多くの児童の模範となっている。
13	老松小	上田 鈴七	元気な学校にしたいという思いから「あいさつ運動」に積極的に取り組み、全校児童だけでなく、地域の方に向けても挨拶を欠かさず行った。また、校歌をみんなで楽しく歌えるような児童会の企画を中心となって考え、明るく、元気な学校づくりに貢献した。
14	正木小	足立 夏凜	「あいさつ運動」では登校してきた児童に気持ちの良い挨拶をし、学校全体が明るくなるように尽力している。学級や学校全体がより楽しく、有意義なものになるよう主体的に考えて行動する姿は、同級生だけでなく下級生からも信頼され、他の児童の模範となっている。
15	吹上小	小川 瑠南	リーダーシップを発揮して校内スローガンの作成や異学年交流「ふれあい集会」など、様々な活動を企画・運営し魅力ある学校づくりに貢献した。また、何事にも前向きな態度で互いに優しく助け合いながら活動に取り組む姿勢や人柄のよさは、他の児童の模範となっている。
16	八事小	福元 凜	よりよい学級や学校にするために、自ら考え実践することができる。学級では学級目標「スマイルハッピー」を心掛け、学級遊びの企画・運営を行ったり、児童会では「挨拶大会」や児童集会に仲間と協力して取り組んだりするなど、学校全体の模範となっている。

番号	校名	氏名	表彰内容
17	伊勝小	丸地 あさひ	挨拶レベルアップを目指し、挨拶運動に取り組んだ。みんなに挨拶してもらえる方法を考え、オリジナルたすきを作って挨拶した。得意のイラストを生かし、ポスター等の作品応募に力を入れている。自分の特技を生かし、努力し続ける姿は、他の児童の模範である。
18	弥富小	小笠原 由真	「学校を楽しいところにプロジェクト」を立ち上げ、全校で踊って楽しめる企画を進めた。また、おすすめ図書のポスターを作成して、皆が本に親しむことができるよう、委員会の中心として活動している。よりよい学校にしようと励む学校の良きリーダーである。
19	御劔小	福嶋 しほ	2年連続で代表委員となり、「児童会だより」の発行や様々な企画の運営に尽力した。また、異学年交流活動では、話し合いの筋道を把握し、的確な説明や意見の集約を中心となって進める等、最高学年として自覚ある姿は、他の児童の模範となっている。
20	堀田小	水野 明花梨	「あいさつ運動」を毎月2回実施し、明るい声で挨拶することを心掛け、明るく楽しいと感じる学校づくりに貢献している。特に、1年生をはじめ低学年の児童に優しく声を掛ける姿が頻繁に見られ、優しく温かい雰囲気をつくることができるように取り組んでいる。
21	汐路小	山田 遥香	運動会では、児童代表として、運動会への意気込みを開会式で堂々と述べることもできた。「みどりの募金活動」を計画・運営し、全校への協力を呼び掛けた。学級や学年、児童会でも中心的な役割を果たすことができる。周りをよい方向へ導く活躍をしている。
22	高田小	橋口 春成	児童会の「にこにこあいさつ週間」では、「目を見て」「笑顔で」「はっきりと」「自分から」とポイントを示し、すてきな挨拶があふれる学校を目指して取り組んでいる。皆のために自分ができることを考えて行動することができるため、周りからの信頼が厚い。
23	井戸田小	寺澤 さくら	「朝のあいさつ運動」では、マスコットキャラクターを活用したり、アイデアを生かし企画を工夫したりするなど、積極的に活動した。また、運動会の応援団団長を務めるなど、常に井戸田小の代表として、意識を高く保ち、誇りをもって取り組む姿が見られた。
24	豊岡小	大原 ゆな	児童会役員として、学校全体のために尽くしている。児童会活動として、運動場改修工事時の室内遊びを児童会委員と協力していくつか考え、全校に紹介した。他学年と交流する活動を行うときには、下級生に気を配りながら接する面倒見のよさが見られる。

番号	校名	氏名	表彰内容
25	大宝小	平野 湊亮	人と人がつながる挨拶を日頃から大切にしている。中心となって計画した挨拶集会では、保護者が参加できるようにしたり、マスコットキャラクターを招いたりして、挨拶活動を盛り上げた。この活動をきっかけにして、校内に挨拶の輪が大きく広がっている。
26	広見小	首藤 優斗	児童会活動の中心的な役割を担い、様々なアイデアを考えた。縦割り班のメンバーが仲良くなることを目指して「五色おに」という遊びを企画し、休み時間に実施した。学年の枠を超えて、全校児童が笑顔で楽しく関わることができる学校づくりに貢献した。
27	荒子小	渡邊 彩吹	朝の挨拶活動では、率先して誰に対しても気持ちのよい挨拶をした。全校児童の「友達と協力してできるようになったこと」や「うれしかったこと」を集約して、笑顔の輪を広げる取り組みを計画・実行し、全校児童がよりよく関わることができる学校づくりに貢献した。
28	篠原小	柿本 心陽海	誰もがよりよく学校生活を送ることができるように、きまりを守ることを呼び掛けたり、1年生の教室に向いて掃除の仕方を教えたりした。緑の募金の際には、森林保全への全校児童の意識を高められるように、自ら募金箱を製作し、精力的に募金を呼び掛けた。
29	豊治小	杉山 小和	児童会活動においては、中心的な役割を担い、具体的で実行性の高い企画を考えた。特に挨拶運動に力を入れ、全校児童が進んで挨拶ができるように、各学級で挨拶のスローガンを決める活動を考え、誰もが挨拶し合える親和的な学校の雰囲気をつくることができた。
30	千音寺小	中野 愛梨	全校児童が楽しく通うことができる学校の雰囲気をつくろうと考え、児童会活動の中心として活躍している。誰にでも優しく接しながら学校・学級をまとめることができ、また、学習面においても友達に声を掛けて協働的に取り組む姿が見られ、級友の信頼が厚い。
31	万場小	小柳 大志	児童会活動の中心的な存在として活躍した。自ら誰にでも明るく元気に挨拶することで、挨拶運動をけん引し、異年齢交流活動においては、他の学年の児童の考えを尊重しながら意見をまとめた。誰もが楽しく過ごすことができる学校づくりに力を尽くした。
32	玉川小	富田 万琴	児童会活動の中心として様々な活動に精力的に取り組んだ。全校児童に募金への協力や挨拶の大切さを呼び掛けたり、誰もが楽しく過ごすことができるように、月ごとの生活目標に基づいてイベントを企画する「にじいろレンジャー」という活動を考えたりした。

番号	校名	氏名	表彰内容
33	西前田小	溝田 凌佑	児童会活動の中心的な役割を担い、他の児童会役員と一緒にアイデアを出し合いながら、募金活動を行ったり、児童集会の計画を立てたりした。計画を実施する際には労を惜しまず、リーダーシップを発揮して事前準備を進めたり、運営に取り組んだりすることができた。
34	東築地小	中島 玲音	「名古屋で一番あいさつが響く学校にしよう！」という目標に向けて、アンケートを採り、顔を上げて挨拶ができるように取り組んだ。たすきの言葉をつなげて読むとメッセージになる工夫をした挨拶運動を企画し、挨拶ができる児童を増やすことに貢献した。
35	大手小	荻 翔星	児童が中心となり行われる「運動祭」において、応援団長として皆の先頭に立ってチームを鼓舞し、行事を盛り上げた。また「朝のあいさつ運動」において、相手が心地良くなる元気いっぱいの挨拶を行い、常に学校全体を明るいつまみこむことができることに貢献した。
36	成章小	寺町 埜恵	毎年学級代表委員を務め、挨拶運動や募金活動など、学年や児童会の中心となって活動し、運動会では応援団長としてリーダーシップを発揮した。誰にでも優しく接し、困っている友達には、解決するまで寄り添う姿も見られるので、級友からの信頼も厚い。
37	正保小	橋本 琉玖	異学年ふれあい集会の企画を考えたり、進め方を4・5年生に教えたりした。運動会では、児童代表誓いの言葉を熱く語り、全校児童の意欲を大いに高めた。どんなことに対しても真面目に取り組み、行動できる姿は模範となっている。
38	豊田小	山口 翔大	「挨拶運動」では、下級生の模範となるような大きな声で挨拶し、学校の雰囲気を明るくすることができている。与えられた仕事を責任をもってできる。どんなことにも前向きに取り組む様子が見られ、学校のために何ができるのかを考えて積極的に行動した。
39	伝馬小	佐藤 風花	児童会役員として、学校生活がよりよくなることを強く願い、全校集会や行事にちなんだ活動を企画・実施し、誰にでも楽しい学校づくりの推進に大きく貢献している。他学年の児童にも優しく誠実に接し、学校全体の信頼を集め、他の児童の模範となっている。
40	宝小	山田 陽葵	積極的に委員会の委員長やクラブ長等に立候補し、宝小学校を牽引していこうという主体性が見られた。学習面では、意欲的に学習に取り組むだけでなく、日常生活においても、学級の友達が困っている時に優しく声を掛けたり、励ましたりすることができた。

番号	校名	氏名	表彰内容
41	大磯小	山田 羽純	児童会では、朝の挨拶運動で、登校する児童に進んで挨拶をしている。下級生に優しく声を掛ける姿がよく見られ、他の児童の模範となることができている。また、授業中に積極的に発言したり、よく考えて課題を解いたり、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。
42	宝南小	廣瀬 風大	誰に対しても公平に接している。特に、給食委員として低学年児童に優しく声を掛け、当番活動に積極的に取り組む。また、困っている友達に優しく声を掛け、手助けをする姿が見られる。礼儀正しく、節度ある行動をとることができ、全校児童の模範となっている。
43	平子小	村上 慶吾	児童会役員として、笑顔で目を見て大きな声で挨拶する活動を通して挨拶のよさを伝えたり、全学年が楽しめる学校行事を考えたりするなど活動をリードしている。みんなを笑顔にしたいという強い思いをもって活動の中心となって取り組んでいる。
44	鳴子小	松元 統真	児童会役員と協力して「なかよしハッピーの日」を位置付け、学校生活において「頑張ること」や「気を付けること」等を全校児童に向けて呼び掛けている。また、全校児童が楽しく活動して絆を深めることができる児童会行事「鳴子クイズラリー」を企画した。
45	片平小	武藤 愛茉	児童会役員として、様々な活動に積極的に取り組んでいる。特に、朝の挨拶運動に力を入れ、他の児童の挨拶を促した。また、ペア活動では、1年生に思いやりのある優しい態度で接し、多くの1年生から慕われているとともに、他の児童の模範となっている。
46	太子小	山下 千紗叶	児童会役員として、低学年の児童にも親しみやすい態度と、笑顔を絶やさない姿で「あいさつ運動」に取り組み、よりよい学校づくりに向けて力を発揮している。学級では、誰に対しても笑顔で接しており、日々の模範的な行動から級友より厚い信頼を得ている。
47	桶狭間小	大竹 凜花	登校時間には、校門に立って挨拶活動に積極的に取り組み、関わり合うことを大切にして、全校児童が楽しく学校生活を送ることができるよう一助となっている。分団や行事等での他学年との交流では、下級生に気を配りながら、全体のことを考えた言動に努めている。
48	滝ノ水小	池田 泰誠	本校の教育目標「来てよかった また来たい学校」の実現に向けて児童会活動を推進している。児童会の中心として話し合いを進め、「ろうかを歩こうキャンペーン」を企画し、廊下の右側歩行の意識を高めるために、全校児童への呼び掛けに積極的に取り組んだ。

番号	校名	氏名	表彰内容
49	本郷小	平出 藍璃	児童会活動の充実をねらい、異学年で構成しているペア学年グループでの活動を進め、「環境学習」においてペアグループの親睦を深めた。また、様々な人とのつながりを大切にするために、挨拶運動を企画し、学校の中心となって進め、挨拶運動を盛り上げた。
50	前山小	前田 莉菜	児童会の活動計画や推進方法を話し合う際に、初めて児童会活動へ参加する４年生の考えを引き出そうとする姿が見られた。また、代表委員会としてペア学年で遊ぼう会を企画・運営し、学年を超えたつながりを深められるよう努めることができた。
51	植田小	山本 陽菜子	児童会活動において、全校児童が様々なことに挑戦しながら成長することができるようなスローガンを作成し、覚えやすいように掲示物を掲げるなど、学校のために献身的に活動した。また、「植小全校ぐんぐん祭り」を成功させるために中心的な役割を果たした。
52	野並小	陳ノ内 亜美	朝の挨拶運動では、毎日校門に立ち、笑顔で児童に声掛けをしたり、「なごやＩＮＧキャンペーン」の児童集会では、寸劇を通して、互いの違いやよさを認め合うことの大切さを児童に訴えたりして、誰とでも仲良くし、互いの存在を大切にする学校づくりに貢献した。
53	たかしま小	村上 唯芽	児童会活動の中心となり、開校１年目として目指したい学校を想像しての学校スローガンを仲間と一緒に考えることができた。また、スローガンの達成に向けて、ペア学年がふれあう集会活動を企画し、たくさんの笑顔が広がる活動を行うことができた。
54	山根小	岩井 心奏	みんなが笑顔で学校生活を送るための改善点や自分たちにもできそうなことなどについて考え、様々な取り組みを提案・実施した。また、運動会や「やまねっこまつり」などの行事について、それぞれのめあてに迫るために、児童会の中心となって企画・運営をした。

(2) 中学生

番号	校名	氏名	表彰内容
55	今池中	加藤 咲良	制服のブレザー化に伴い募集したエンブレムとボタンのデザインは、どちらとも最優秀デザイン賞に選ばれた。また、校内音楽会や卒業式では伴奏者に選ばれ、指揮者と共にすばらしい合唱を作り上げた。このように様々な場面でよりよい学校づくりに貢献した。

番号	校名	氏名	表彰内容
56	城山中	兼子 紗世	学習面でどの教科においても熱心な学習態度で、どの授業にも積極的に取り組み、優秀な学習成果をあげている。1～3年生前期に美化委員を務め、学校全体の美化を考え活動することができた。また、ブラスバンド部では、優秀な成績を収めることに貢献した。
57	千種台中	塩谷 莉里	生徒会役員を4期歴任、月に一度「笑顔の日」として「つながりハイタッチ」などを企画した。校内が温かい雰囲気にも包まれた。「3年生を送る会」では運営に加え自身もダンスを披露、感謝の輪を広げた。能登半島地震の募金運動を展開し、現地に思いを届けた。
58	振甫中	松井 璃紗	生徒会役員を歴任し、「あたりまえを超えよう」をスローガンに掲げ、学校全体の規範意識の向上に貢献した。また、「陸前高田市交流団」では、被災地の復興の現状や実際に被災地を訪れて感じたことなどを、全校集会で発表し、生徒たちの防災意識を高めた。
59	若水中	伊藤 凜	「学年性別を超え協力できる」という若水中らしさをつないでいくために、生徒会レクリエーションや体育大会縦割り種目の企画運営に積極的に関わった。後輩を指導する責任感をもち、当該校の教育目標「今日が楽しい、明日が待ち遠しい」学校づくりに貢献した。
60	千種中	藤田 千咲	学校全体が一体感を高め、生徒間の絆を強めることを目指した、全校レクリエーションの企画や環境問題に全生徒が目を向けられるように「環境学習ウィーク」の清掃活動などを中心となって考えた。また、「能登半島地震」での募金活動に注力した。
61	東星中	足立 紗優	第1学年から第3学年まで学年の中心となって活動した。「学年の誰もが楽しめること」にこだわりをもって、企画やルールを考えることができた。何事にも責任をもって取り組み、粘り強くやり遂げることができるので、全校生徒から信頼されている。
62	あずま中	長井 心奈	「あずま日本一プロジェクト」の取り組みにおいて、活動の見直しを行ったり、企画の実現に向けて他の生徒と議論を重ねたりするなど、努力を続けた。また、校則の見直しも進め、全校生徒の意見を聞きながら改定を行い、よりよい学校づくりに貢献した。
63	富士中	東 美汐	3年生を送る会では、生徒会を一つにまとめ、中心となって活躍した。陸前高田市絆交流団の参加者として、スライドを使って分かりやすく伝えたり、自分たちができる震災への対策をプリントにまとめて配付したりするなど、経験を他の生徒に還元した。

番号	校名	氏名	表彰内容
64	桜丘中	山本 芹菜	学級代表を3年間歴任し、集団全体をよく見て、個々に配慮して活動することができた。誰もが楽しめる工夫を取り入れた「学年レク」を企画し、親睦を深めることに貢献した。学年全体に的確な指示を出し、生徒が自主的に参加できる雰囲気づくりに努めた。
65	矢田中	長谷川 める	相手の立場や考えを尊重する姿勢や何事にも一生懸命取り組む姿勢は、他の生徒の模範である。また、学級や学校をより良くしていこうという意欲にあふれ、現在進めている「全ての生徒が自分らしく生活できる学校づくり」においても中心的な役割を担っている。
66	若葉中	関 葵	体育大会の生徒会種目として、「スーパーわかばっち」と称して「大縄跳び」を企画し、昼休みの練習に異学年との交流を盛り込んだ。他にも「生徒会オリエンテーション」や「朝活キャンペーン」などを企画し、全校生徒が過ごしやすい学校づくりに貢献した。
67	北陵中	十鳥 太一	生徒会活動では、全校生徒の意見を生かすために、「生徒会BOX」を設置して生徒の意見を集めた。また、クラスや学年の壁を越えて交流することを目的とした「学校レク」を企画し、楽しいと感じる学校づくりに貢献した。誰に対しても優しく接し、人望も厚い。
68	大曽根中	浅野 春美	「笑顔あふれる学校にしたい」という思いから、「あいさつ運動」「生徒会新聞作り」「校則の見直し」に尽力した。全校生徒がよりよい学校生活が送れるように、3年間にわたって生徒会活動の中心となり、生徒が主体的に活動する学校づくりに大きく貢献した。
69	八王子中	大脇 菜由	3年生を送る会では全員が楽しめる会になるように話し合いを重ねたり、タブレットを活用した「意見箱」によって、全校生徒からの意見を集約したりするなど、より快適な学校生活に向けて尽力することができた。4期にわたり、生徒会の中心となって活躍した。
70	楠中	小崎 海斗	生徒会執行委員を歴任し、生徒会行事の企画・運営に尽力した。各委員会との「コラボ企画」や全校生徒の繋がりを大切にしたい全員参加型運動会「楠プロジェクト」で中心的な役割を担った。仲間と協力して全校生徒を盛り上げる姿は、他の生徒の模範である。
71	北中	島田 蓮音	生徒会の中心として、地域清掃活動である「クリーンマイタウン」や緑化ボランティア活動である「ネモフィラの栽培」を通して地域の緑化活動に貢献した。その他にも、小中合同の挨拶運動にも尽力し、学校をより良くしようと取り組むことができた。

番号	校名	氏名	表彰内容
72	浄心中	稲波 侑	生徒会役員として、全校生徒が楽しめるような「3年生を送る会」を企画・運営し、成功に導いた。また、校則の改定に向けて全校生徒の意見を集めたり、生徒議会で熱心に議論を重ねたりする姿が見られ、学校のリーダーとして他の生徒から厚い信頼を得ている。
73	菊井中	森 瑠菜	生徒会役員として、生徒が生徒会行事に興味をもてるように「生徒会新聞」の作成を実現した。また、総合的な学習の時間では、SDGsカルタを発案し、リーダーとして活躍した。何事にも責任感をもって最後までやり遂げる姿は、他の生徒の模範となっている。
74	名塚中	五十棲 菜月	生徒会役員を歴任し、学校行事にも日常の活動にも、意欲と責任をもって取り組む姿が、他の生徒の模範となっている。陸前高田市との交流では、防災や復興に対する地域の工夫や人々の思いを学び、全校生徒に発表することを通して、防災意識の向上に寄与した。
75	天神山中	山田 紫音	本校で長年取り組んでいる、アルミ缶回収活動に生徒会の中心として取り組み、資源のリサイクルが環境保全に役立つことを意識できる広報活動の工夫を行った。また、アルミ缶回収活動の収益で福祉関連施設に車椅子を寄贈する取組に、中心となって尽力した。
76	山田中	戸倉 董子	生徒会活動の中心となって活躍した。生徒議会や生徒集会では、全校生徒に分かりやすく生徒会活動を発信することを心掛けて企画や運営に携わり、生徒主体の学校づくりに貢献した。愛知県立名古屋特別支援学校との交流会にも参加し、地域の活動にも貢献した。
77	山田東中	大西 桃佳	開かれた生徒会を目指して、広報活動に力を入れ、生徒会新聞の発行回数を増やし、委員会への活動インタビューなどを掲載した。50周年記念行事では、記念Tシャツの制作やイメージキャラクターの絵描き歌の募集などを行い、盛り上げることができた。
78	豊国中	鈴木 陽斗	移動教室の呼び掛けや集会時の整列指示など、学級のリーダーとしての責務を果たし活躍した。級長会では学年全体の課題にも目を向け、「チャイム着席キャンペーン」など、皆が楽しく取り組める企画を通して、活発で規律ある学年集団にするために尽力した。
79	笈瀬中	福野 来実	陸前高田市交流団に参加し、学んだことを全校生徒に熱心に伝えとともに、防災意識を高めるための活動に継続的に取り組んだ。生徒会役員を4期務め、責任感の強さや誰に対しても分け隔てなく接し、何事に対しても誠実に取り組む姿は他の模範である。

番号	校名	氏名	表彰内容
80	御田中	楯 祐佳	「ノーチャイムデー」や「ノーチャイムウィーク」の企画の中心となったり、ベルマーク収集を手伝う有志生徒募集の試みを新たに企画したりするなど、生徒が自分たちで考え、自立した中学校生活を送ることができるようになるための生徒会活動の中心として尽力した。
81	黄金中	川上 瑞希	今年度の生徒会スローガンである「みんなで築く黄金の道」を基に、「みんなが主役になる黄金中学校」という個人目標を掲げ、その実現に向けて、精力的に活動している。一人一人が活躍する活動を企画・運営し、学校生活の活性化に大いに貢献した。
82	日比津中	鬼頭 虎ノ介	1年時より生徒会役員を務め、よりよい学校づくりに取り組んでいる。今年度は、生徒会の中心となり、挨拶活動、生徒会新聞の発行、生徒が互いの長所を探して伝え合う「良いところ探偵」の実施、花壇の整備、校則の見直しなどの取り組みを行った。
83	丸の内中	岡崎 愛乃	3年間に渡り、室長を務め、学級のリーダーとして活躍した。3年生時に「60周年記念プロジェクト」を企画し、記念品の作成案や60周年式典での記念品紹介の発表者に立候補するなど、自らの行動に責任をもち、学校全体をまとめることができた。
84	伊勢山中	柴田 歩香	制服、校則改定において、全校生徒を対象にアンケートをとり、全校生徒の意見を反映したり、新制服のボタンデザインを考案したりしてリーダーシップを発揮した。また、自らが積極的にボランティア活動に参加するなど、生徒会活動の活性化に貢献した。
85	桜山中	奥間 心美	4期生徒会執行委員を務め、学校行事や生徒会活動の運営に尽力した。特に、生徒議会では、学年や役職の枠を越えて話し合ったり、アドバイスや協力し合ったりできる環境づくりに大きく貢献した。また、地域の高齢者の方と交流するボランティア活動を企画・運営した。
86	川名中	光田 遥花	誠実な人柄と自らの役割に対し真摯に取り組む姿勢から、友達からの信頼が厚い。3年生時は生徒会役員を務め、生徒集会を充実させるために劇仕立てで生徒会企画の内容を伝えたり生徒会キャラクターを募集したりするなど学校を明るく穏やかな雰囲気にしていく。
87	円上中	岩田 理玖	生徒一人一人が輝き、活気のある学校にしようという思いを込めた「煌」というスローガンをもとに、生徒会役員として様々な活動を進めてきた。特に、生徒全体が楽しめるように学年の枠をこえた「学校レクリエーション」を企画し、皆が楽しめる行事となった。

番号	校名	氏名	表彰内容
88	駒方中	小野 詩織	一年生から、クラスのリーダーとして学級をまとめ、学年レクリエーションでは、やる気を引き出す声掛けをするなど、学年全体が満足するレクリエーションを創り上げることができた。また、部活動においても中心的存在として熱心に活動することができた。
89	田光中	春日井 夢咲	生徒会では、生徒会規約の改正と全校交流会の実施の二つを発案し、生徒・職員と対話を重ねて実現させた。また、校内挨拶ボランティア活動や意見箱の活用方法を改善し、既存の活動をよりよいものに変えながら、学校の代表として意欲的に活動した。
90	瑞穂ヶ丘中	新町 優太	生徒会活動において、リーダーシップを発揮した。また、ウクライナ避難民との交流会の実行委員や、防災クラブなどの活動にも参加し、全校生徒の国際協力や防災意識の向上に貢献した。仲間と協力し合い、中心となって活動に取り組む姿は、称賛に値する。
91	萩山中	土屋 音花	生徒会活動では、入学式の在校生徒代表として挨拶をしたり、新入生歓迎会の準備をしたりと活躍した。生徒会役員を合計3期務め、校則の見直しに取り組み、教員との意見交換会において自らの意見を積極的に述べて、よりよい学校づくりに向けて力を発揮した。
92	汐路中	杉村 幸成	本校の校則に一石を投じ、特に靴下の校則改定について先頭に立ち、新しい案をまとめるなど、校則改定に向けて尽力した。また、生徒会の運営全体に気を配りながらスケジュールや仕事の進捗状況について考え行動する姿は、他の生徒の模範である。
93	沢上中	飯田 虎徹	LGBT等の視点から現行制服の問題点を集め、ブレザー・ボトムのデザインを検討し、ワッペン・ボタンデザインを募集して、制服の改定に向けて取り組んだ。また、議会内交流を取り入れ、発言者用の演台を設置して、発言がしやすい生徒議会づくりに貢献した。
94	宮中	諏訪 光春	校内外で行うボランティア活動に尽力した。地域の高齢者施設へ送った年賀状やうちは、多くの人の心を和ませた。「3年生を送る会」では、在校生をまとめ、卒業生が感動する会を行った。人と人との心のつながりを意識した学校行事の先頭に立って活動した。
95	一色中	木村 莉子	挨拶活動や全校生徒の意見を反映させることに重きを置いて生徒会活動を精力的に進めた。生徒会活動の紹介や生徒会に寄せられた意見に対する返答などを「生徒会新聞」に詳しく掲載して発行することで、全校生徒が生徒会活動を身近に感じられるようにした。

番号	校名	氏名	表彰内容
96	長良中	三村 美咲	生徒会役員を歴任し、常に生徒会の中心となって生徒会行事に携わった。5月に実施した「環境ウィーク」の取り組みでは、環境に対する関心を全校生徒に高めてもらいたいという強い思いをもって、クイズ形式による工夫をした環境活動への取り組みを行った。
97	山王中	牧原 雄翔	生徒会役員の仲間と協力して、校内環境を改善する活動や、体育大会の生徒会種目の内容、みんなが楽しむことができる生徒会イベントなどを立案・実施したり、全校生徒に落ち着いて学校生活を送ることの大切さを伝えたりするなど、よりよい学校づくりに貢献した。
98	一柳中	三輪 一皓	4期連続の生徒会役員を務め、生徒会活動の中心となって様々な場面で積極的に役割を果たした。「過ごしやすい学校をつくり上げる」ことを目指したウォークラリーを企画し、生徒全員が学校への所属意識を高め、仲間との協力関係を築く土壌をつくった。
99	八幡中	清水 瑠麻	2年生では、「陸前高田市交流団」として陸前高田市を訪問した。報告のための全校集会では、日頃の避難訓練の大切さを訴えた。3年生では、体育祭において、ルールに工夫を凝らした多くの種目を企画して、活気のある行事を全校の中心となって行うことができた。”
100	昭和橋中	原 唯人	学校生活のルールについて、生徒議会での意見交換や全校生徒によるアンケートを実施した。集約した生徒一人一人の声を、生徒会執行部が中心となって立ち上げた「校則検討委員会」の場で発表し、校則の見直しについて教師と生徒との話し合いに尽力した。
101	富田中	飯田 充喜	生徒会の中心として、学年を超えた交流を図るために体育大会の種目を考案したり、校内外の清掃を企画したりして、地域を含めた関わりを大切に生徒会活動に貢献した。剣道部においては仲間を牽引し、県大会出場を果たす活躍をして、他の模範となっている。
102	はとり中	局 隆成	4期に渡り生徒会役員を務めた。校内ボランティア活動では、「アルミ缶回収」の回収量を増やすため、ポスター作成や回収量の多い学級の表彰などの活動に尽力した。また、陸前高田市との交流活動に参加し、そこで学んだ内容を全校生徒の前で発表した。
103	助光中	安江 舞美	学級・学年の中心的な役割を担い「笑顔あふれる楽しい学年・学級づくり」を活動理念として生徒会活動や学校行事の立案・運営に携わった。係や実行委員など、周りの友達と協力して、全校生徒が学校生活を楽しみ過ごすことができるようにするための活動を行った。

番号	校名	氏名	表彰内容
104	供米田中	濱田 新菜	1年生の時から生徒会活動に携わり、2年生の前期から、新しい制服で使用するボタンやエンブレムのデザインの応募について、生徒会全体に呼び掛けを行ったり、制服の業者によるプレゼンテーションに参加したりするなど、新しい制服の採択に貢献した。
105	高杉中	服部 愛莉	学校生活の様々な場面でリーダーシップを発揮し、学習面においては粘り強く取り組む姿から他の模範となっている。また、柔軟な発想で校則の見直しや学校生活向上に尽力した。学校行事や生徒会活動の中心となって活気ある学校づくりの原動力になった。
106	港南中	武藤 輝彩	生徒会役員として、本校の伝統の継承とよりよい学校づくりを目指してきた。昨年度新設された生徒会企画では、縦割りチーム対抗の「綱引き大会」の立案・運営にあたり、中心的な役割を担った。多くの生徒会活動に注力し、本校の協働的な学びの実現・発展に寄与した。
107	港北中	中村 琉花	毎朝の「あいさつ運動」を推進するとともに、「地域ふれあい交流会」や「学校レクリエーション」を企画・運営し、地域の高齢者との温かなつながりづくりに努めたり、他学年との交流の場を作ったりした。生徒からの信頼も厚く、他の生徒の模範となっている。
108	東港中	野田 柚花	能登半島地震が起こった際には、素早く声を上げ、募金活動を行った。また、「なごやINGキャンペーン」では、脚本を考え、生徒全員にSNSの正しい使い方を劇で伝えた。様々な生徒会行事の運営に積極的に活動し、明るい学校づくりに貢献することができた。
109	南陽中	井口 佳穂	生徒会役員として、防災意識を高めるために防災集会を企画したり、3年生を送る会では1・2年生の合同合唱などを企画したりした。また、防寒具着用のルールの改訂では、生活委員と協力して議案を伝えるなど様々な場面で力を発揮し、学校生活の向上に貢献した。
110	宝神中	小野 心愛	「陸前高田市交流団」に参加し、そこで学んだ防災や減災の必要性を全校生徒に発表することで、防災・減災意識を高めることに大いに貢献した。向上心が高く、何事にも前向きにチャレンジし続ける姿勢は、他の模範となり、仲間からの信頼を集めた。
111	当知中	高柳 結愛	3年生を送る会を企画・運営したり、校則の見直しを行ったりするなどして、楽しく過ごしやすい学校づくりに貢献した。また、「陸前高田市交流団」に参加した。この活動を通して学んだことをまとめて全校生徒に報告し、防災に関する意識を高めることに貢献した。

番号	校名	氏名	表彰内容
112	港明中	千種 利空	4 期に渡り生徒会役員を歴任し、2 年後期から「ロイロノートでの意見箱作成」を企画し、よりよい学校をつくり上げようと尽力した。今年度は、スローガン「友と共に t o m o r r o w へ」を掲げ、仲間と協力し合える学校を目指した活動に取り組んだ。
113	南陽東中	坂野 宏樹	生徒会役員として積極的に活動している。生徒会執行部を身近に感じてもらうための「生徒会クイズ」や被災地支援のための「能登半島地震募金活動」を企画・実施した。自らアイデアを出しながら、主体的に活動を進める姿は、他の生徒の模範となっている。
114	本城中	高橋 環那	3 学年が同時に活動できる「本城フェス」に取り組み、立案から進行まで活躍し、成功に導いた。能登半島地震災害義援金を自ら発案して企画・運営した。向上心や探求心に富み、自分の役割を超えて何事も誠実にやり遂げる姿勢は、他の模範であり、人望も厚い。
115	新郊中	野倉 悠生	学年のリーダーとして学校や学年の行事、クラス経営の計画・立案に携わり、優れたリーダーシップを発揮した。稲武野外学習や修学旅行では、スローガンを決め、服装や持ち物、ルールやマナーなどを他のリーダーと考え、よりよい学年にしていこうと尽力した。
116	桜田中	甲斐 千遥	室長を歴任し、学級への声掛けや「あいさつ活動」などを行い、学級や学年でリーダーシップを発揮した。3 年時は学年の中心として、修学旅行の服装のルールを考え、説明会で発表した。合唱部では、副部長を務め、よりよい合唱をするために多大な貢献をした。
117	大江中	鈴木 萩斗	生徒会役員を歴任して、生徒会行事の企画・運営に貢献をした。体育大会では、例年行われていた生徒会種目を一新して、縦割りクラスでの競技を発案し、学年の枠を超えて協力し合う競技を行った。何事にも誠実に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となっていた。
118	明豊中	近藤 有紀	「笑顔の花を咲かせるために私が大切にしたいこと」の行動宣言を全校生徒から募集して、平成 3 0 年から毎年行っている「花いっぱい運動」で共有する企画の立案・運営の中心的な役割を果たした。それにより笑顔あふれる明るい学校づくりに大きく貢献した。
119	名南中	莊司 詩	名南中学校をよりよくしたいという思いから、学年間の交流の機会をつくるために、「学年対抗ドッジボール大会」を企画した。その他にも、3 年生を送る会では、卒業生だけでなく全員が盛り上がるように企画するなど、行事に積極的に取り組み、尽力した。

番号	校名	氏名	表彰内容
120	南光中	高藤 美伽	新体操服の候補を生徒議会で紹介し、全校投票を行い、新体操服の選定を実施した。生徒議会や意見箱である「南光の声」で出た生徒の意見を集約し、制服に関するルール作りを行った。校則の改定に取り組み、誰もが過ごしやすい学校づくりに貢献した。
121	守山東中	新海 隆明	2年生後期と3年生前期において生徒会役員を務めた。3年生を送る会の幕間企画を全校生徒参加型にしたり、体育大会の生徒会種目を縦割り競技にしたりするなど、全校で一体感を感じながら交流できる内容を企画・運営して、よりよい学校づくりに取り組んだ。
122	守山西中	芝宮 雅人	生徒議会や学年リーダー会ではリーダーシップを発揮し、多角的な視点からアイデアを出し、冷静な分析力で議論をまとめた。将来の明確な目標を持ち、始業前や昼食後の短い時間を利用して自主学習に励む努力を重ね、入学以来優秀な成績を収めている。
123	大森中	小川 晴信	「学校をよくしたい」と考え、それを実現するために3年間生徒会役員として尽力している。様々なボランティア活動やデジタル目安箱の開設、体育大会の生徒会種目の企画・運営など自分たちで考え、取り組み、居心地の良い笑顔あふれる学校づくりに貢献した。
124	守山北中	名倉 弥来	生徒会を4期務め、学校の生徒会活動に貢献した。中でも、学年間の交流を深めたいと、生徒会で新たに企画した「守北オリンピック」は、誰でも楽しめる種目が多く、生徒や教職員から大変好評であった。これらを含む生徒会活動をまとめ上げた功績は大きい。
125	森孝中	二宮 希実	有志による清掃活動において、ゲーム要素を盛り込んで他の生徒の意欲を高めながら、地域の環境美化に取り組んだ。また、体育大会では、全校生徒をチーム分けして、ボールを使ったリレーを企画・運営し、学校全体を盛り上げ、充実した体育大会にした。
126	吉根中	江本 千咲	生徒会役員として、学校行事の運営に積極的に関わることで、学校全体を引っ張る存在となった。周りの生徒に気を配るだけではなく、自ら考え、自ら行動し、自ら学び続ける姿は、校訓「自主・自律・自学」における取り組みへの意識を高めることに貢献した。
127	鳴海中	羅 星梓	全校で取り組む人権学習活動を2年連続で企画した。活動のまとめでは「互いを尊重し合う」というテーマで詩を発表し、生徒の人権意識を高めることに大きく貢献した。また「おはよう活動」に尽力し、生徒の挨拶に対する意識の向上に大きく貢献した。”

番号	校名	氏名	表彰内容
128	大高中	上野 悟一	生徒会役員として生徒会活動の中心となり、「花咲か戦隊」と名付けた活動で地域の伝統野菜を育てたり、学校の様子を地域の方々にも知っていただくための掲示物を作成して掲げたりするなど、校内だけでなくよりよい地域づくりに貢献することができた。
129	有松中	津代 あいか	常に学校をよりよくするためにはどうしたらよいかを考えて行動している。特に、体育大会で学年の垣根を越えた縦割りリレーや防災意識を高めるための防災動画の作成を企画するなど、学校全体として生徒が互いを敬い、認め合う関係を築くために努力を重ねた。
130	鳴子台中	沖 克久	能登半島地震の際には、新聞社を通じた被災地への寄付を全校生徒に提案し、役員とともに自分たちの思いを実現した。また、新たな生徒会企画の立案・運営に献身的に取り組んだ。全校生徒が明るく元気に協力し合いながら生活できる学校づくりに貢献した。”
131	東陵中	小栗 千咲	生徒会役員を歴任し、生徒の願いや思いを形あるものとするために尽力した。校則見直しでは、寄せられた意見を基に、登校靴のルール改定に貢献した。また、陸前高田市を訪問し、肌で感じた被災地の現状や、学んだ防災知識を全生徒へ伝え、防災意識を高めた。
132	千鳥丘中	水谷 梨夢	3年生を送る会や体育大会等の行事では、生徒会の中心となり、学校全体が盛り上がるように尽力し、工夫を凝らして活動した。陸前高田市を訪問し、震災の実態や被災者の生き方を積極的に学び、全校集会での発表を通して防災意識を高めることに貢献した。
133	神沢中	木谷 千誉	何事に対しても誠実に取り組み、周りからの信頼も厚い。2年生時には「陸前高田市交流団」の活動で学んだことを全校生徒に向け発表した。また、環境づくりへの意識を高めるため、「クリーン・グリーン大作戦」の運営に参加し、よりよい学校づくりに貢献した。
134	扇台中	白井 乃愛	生徒会役員として、挨拶運動の活性化に尽力した。さらに、地域貢献の一環として徳重大根を普及させる新しい取り組みを積極的に考えた。人と人との結びつきを大切にし、豊かな発想と強い意志で、学校生活が楽しく、よりよくなるように考えて行動した。
135	滝ノ水中	佐藤 美理奈	3年間総務委員を歴任し、互いを尊重し合う学級づくりに懸命に取り組んだ。学年代表を兼任し、「自分たちで考え、発信できる学校にしたい」という気持ちをいつももち、学年行事や部活動でリーダーシップを発揮する姿が他の生徒の模範となっている。

番号	校名	氏名	表彰内容
136	左京山中	森 菜摘	「人のために力を尽くしたい」という強い思いから生徒会行事の成功に尽力した。能登半島地震の被害を知り、自分たちにできる支援を考え、募金活動を生徒会で企画した。活動を全校に呼び掛けるだけでなく、保護者や職員も巻き込んで募金活動を行った。
137	鎌倉台中	鈴木 雅志	クラスや学年の行事や活動において、学年の全員が意見を発言しやすい環境を整えた。生徒議会では、スライドや生徒会新聞を活用し、全校生徒にわかりやすく伝える工夫をした。3年生を送る会では、自ら中心となり「歌の贈り物」の企画・運営を行った。
138	神の倉中	原 鳳貴	生徒会役員を歴任し、全校生徒のために尽力した。タブレット端末を活用し、有志参加者の名簿作成や行事後の振り返りアンケートを準備した。「環境ウィーク」週間には、実施内容を学校集会で呼び掛け、効率的な活動になるような生徒の意識付けを行った。
139	猪高中	加藤 春菜	生徒会役員を歴任した経験を生かしてリーダーシップを発揮した。困っている級友を気遣ったり、教室を広く見渡して手伝えることがあれば積極的に手を差し伸べたりすることができ、様々な場面で努力を惜しまない姿がみられることから、周りの信頼が厚い。
140	神丘中	松本 英信	「おはよう神丘プロジェクト」や「3年生を送る会」の企画・運営に主体的に関わることができた。環境学習の取り組みでは、校内だけでなく、地域の環境美化を目指し、校区内の公園の清掃活動を企画・実行することができた。周りの仲間からの信頼も厚い。
141	高針台中	加藤 茉奈	学年や生徒会の中で、リーダー的な役割を果たした。地域の人々と共同して地域清掃活動に尽力したり、能登半島地震の復興支援に力を入れたりするなど、生徒会活動の企画・運営に精力的に関わり、全校生徒の生徒会への意識を高め、活動を盛り上げた。
142	猪子石中	岸部 百華	「ハピエンスクール活動」では、互いに伝え合いたい「愛言葉」を各学級で考える取り組みを行った。環境集会では、ゴミの分別に関する資料を各学年の廊下に掲示したり、クイズを出題したりして、本市のゴミの分別についての理解を深める活動を全校生徒に行った。
143	藤森中	堀 敏道	生徒会役員として、全校生徒にとって身近な生徒会を目指し活動してきた。生徒の意見を基に、職員との対話の場を設け、夏季服装の自由化を中心とするきまりの見直しを実施した。また、他学年交流レクや地域貢献有志活動などの企画運営の中心として活躍した。

番号	校名	氏名	表彰内容
144	牧の池中	神谷 昊歩	「生徒の個性が発揮される機会を設けたい」という思いで、「牧中ライブ」と「何でも展示会」を企画した。豊かな発想力を生かし自ら先頭に立って発表することで、周りをけん引することができた。生徒の絆を深め、活気ある学校づくりの中心を担っている。
145	上社中	唐木 美貴子	当校の生徒会活動を4期にわたり中心となって推進することができた。体育祭では、絆を深めるための企画「全員リレー」を計画・実行したり、生徒が生徒会活動に親しみをもてるように、生徒会放送の「Third Sun ラジオ」を実施したりした。
146	天白中	稲熊 香織	生徒会役員を3期務め、一体感のある生徒会づくりに貢献した。特に、挨拶運動に力を入れ、全校集会で全校生徒に思いを伝え、生徒会活動への積極的な参加を呼び掛けた。自らが模範となって率先して挨拶をして、学校全体が明るくなるように取り組んだ。
147	御幸山中	松田 悠聖	50周年記念行事では、記念タオルの図柄の募集や選定を生徒会の仲間と協力して行い、企画が大成功するよう努めた。おみくじ挨拶運動を仲間と共に企画・運営し、登校してくる生徒と笑顔で交流することで、生徒がわくわくできる学校づくりに貢献した。
148	久方中	三輪田 侑芽	1年生から3年生まで4期続けて生徒会役員を務めた。地域とのつながりを大切にする地域清掃活動「ひさクリーンウォーク」や、生徒一人一人のつながりを大切にする校内放送「久方っ子LINK」の制作などの新しい企画に取り組み、活力ある学校づくりに貢献した。
149	平針中	山岸 雛菊	「多様性を認め合える学校にしたい」という思いの基、「スポーツ祭」での異学年交流種目や「3年生ありがとう祭」での有志発表の企画など、全校生徒が互いに認め合う学校づくりに貢献した。全実行委員会に参加し、生徒主体の学年行事の運営に大きく寄与した。
150	南天白中	荒井 志乃	1年生後期から生徒会役員を務め、リーダーシップを発揮している。本校の取り組みである「コスモス集会」では、生徒会役員として、学校で育てたコスモスを小学校や保育園、地域のコミュニティーセンターなどに配付し、地域と学校をつなげるために尽力した。
151	植田中	仲川 愛瑠	養護老人ホームとの交流を行い、暑中・寒中見舞いの作成を全校生徒に呼び掛け、利用者と充実した時間を過ごすための企画を用意するなど、リーダーとして地域交流を推進した。また、地域清掃活動を企画し、学校周辺の美化活動に尽力し、豊かな学校づくりに貢献した。

番号	校名	氏名	表彰内容
152	原中	佐藤 萌生	「3年生感謝の会」では、いくつかの実行委員会を立ち上げて準備をすすめ、思い出の写真やイラストで装飾した「思い出ロード」を作成した。学年行事、学校全体の行事では中心となって活動し、全員が仲間として認め合い、一丸となって参加できるように尽力した。

(3) 特別支援学校高等部生徒・高校生

番号	校名	氏名	表彰内容
153	西特別支援高等部	高橋 晴空	生徒会役員の経験を生かし、行事等においては、友達をサポートしたり、様々なことに気付いて自ら行動したりしながら参加することができた。授業へ真剣に取り組み、自らの考えをまとめたり、発表したりするなど、授業中の姿勢や発言は他の生徒の模範となっている。
154	守山特別支援高等部	横山 理弥	よりよい学校生活や集団づくりのために、生徒集会でのスピーチや生徒会主催の行事を精力的に行ってきた。自らが希望する就労を実現させるために、何事にも前向きに挑戦し、自己の課題解決に向けて努力を惜しまない姿は他の生徒の模範となっている。
155	天白特別支援高等部	山口 友也	リーダー会等の活動において、各種行事の準備や運営に中心的な立場で携わり、リーダーシップを発揮しながら活躍することができた。また、日々の授業において、困難な課題に対しても、その解決に向け熱心に学習に取り組む姿は他の生徒の模範となっている。
156	中央高夜	井上 伶音	昼間にアルバイトをしながら学校に通い、1年次と3年次は精勤であった。生徒会役員を務め、新入生歓迎会では中心的な役割を担い、動画クイズを成功へと導いた。執行部会議では自らも積極的に意見を出し、落ち着いた態度で議論を進めるなど活躍した。
157	中央高昼	大橋 蒼空	生徒会役員として、静かな環境で昼食をとりたい生徒のためにできることについて議論を進め、他の生徒も共に利用できる居場所づくりの取り組みに発展させた。問題点の整理、試行による実施調査と議論を重ねて仲間ともに「優先ルーム」を実現した。

2 優良児童生徒団体表彰（98団体）

番号	校名	団体名	表彰内容
1	内山小	内山小学校 児童会	各学級で話し合った意見を代表者会議で伝え合い、児童集会や挨拶運動の内容を考えるなど、児童主体の活動を推進した。また、「Friendスペース」にポストを設置し、児童一人一人の思いも引き出した。
2	大和小	大和小学校 児童会	「あいさつ運動」では、地域の方と一緒に朝の通勤通学時間に挨拶を行っている。気持ちのよい挨拶を通して、地域の一員であるという気持ちと地域を大事にしていきたいという思いを育むのに貢献している。
3	田代小	田代小学校 代表委員会	「支えあいみんながやく田代小」をスローガンに掲げ、学校全体のイベントを企画している。「田代まつり」では、ペアの学級が一緒になって楽しめる遊びを考え、全校が一体となって活動することに貢献している。
4	富士見台小	富士見台小学校 児童会	自作のプラカードを掲げる「あいさつ運動」やペア学年の友達とハイタッチをして仲良くなる活動を立案し、実行した。「笑顔で登校！笑顔で下校！」のスローガン実現を目指して、積極的に取り組んでいる。
5	宮根小	宮根小学校 児童会	「あいさつ運動」を企画・運営し、登校時に門に立ち、登校する児童と笑顔で挨拶を交わしている。全校児童に元気づく挨拶をする姿は他の児童の模範となるとともに、明るく元気な学校づくりに貢献している。
6	千代田橋小	千代田橋小学校 児童会	異学年の交流を活発にするために、縦割り活動として「千代田橋フェスティバル」の企画や運営を行った。また、緑の羽根募金を実施する際、募金の目的をポスターで全校に呼び掛け、環境保全の意識を高めた。
7	旭丘小	旭丘小学校 児童会 代表委員会	自分から挨拶できるように全校児童に働き掛け、「挨拶キャンペーン」など様々なイベントの企画・運営に、率先して取り組んだ。学校をよりよくしようと主体的に活動することで児童の意欲を高めることに貢献した。
8	東桜小	東桜小学校 代表委員会	様々な活動を主体的に行った。良い生活習慣を身に付ける活動「はきものきれい大作戦」を企画したり、集会時に各学級のよさや思い出を全校で共有する時間を設定したりするなど、魅力ある学校づくりに貢献した。
9	山吹小	山吹小学校 代表委員会	「山吹SDGsプロジェクト」として、世界の子どもたちが笑顔で楽しく過ごすことを目指し、ペットボトルキャップ回収に取り組んだ。ポスターや校内放送で呼び掛けるなど、積極的に工夫して活動することができた。

番号	校名	団体名	表彰内容
10	東白壁小	東白壁小学校 代表委員会	地域もきれいにする「地域清掃」や、全児童が安全に楽しく生活できるように取り組む「学校生活改善プロジェクト」を率先して行う姿は、本校が目指す「誰もが行きたくなる学校」づくりに大きく貢献している。
11	砂田橋小	砂田橋小学校 児童会	砂田橋小学校の新たなマスコットキャラクターの名称募集について企画・運営を行った。全校児童から募集し、候補を数点に絞り、最終投票を呼び掛け、「すなっピー」に決定した。学校に一体感が生まれた。
12	飯田小	飯田小学校 児童会	挨拶運動や「ペア学年」でのイベントを企画し意欲的に活動している。異学年交流の中で、互いに思いやる気持ちを育み、学年、学級だけでなく、より多くの人と関わることのできる環境づくりに取り組んでいる。
13	光城小	光城小学校 代表委員会	代表委員として、毎朝正門に立って気持ちのよい挨拶を行う姿は、全校児童の模範となっている。また、異学年交流では、代表委員が中心となり、楽しく交流できるゲームを企画・運営することができた。
14	六郷小	六郷小学校 児童会	150周年記念の「バルーンリリース」をきっかけに、全児童同士でよいところさがし「思いやり風船」の活動を行った。全児童のよいところが掲示板に貼られると、たくさんの児童の笑顔が見られるようになった。
15	西味鉢小	西味鉢小学校 6年生	「人にやさしく」を合言葉に、遠足や「西味鉢フェスティバル」などの縦割り活動では、下学年の児童の立場を考えたり、幼稚園・保育園の子どもに分かりやすく学校紹介や遊びを説明したりすることができる。
16	辻小	辻小学校 代表委員会	「目を見て・進んで・元気よく」のスローガンを掲げ、INGキャンペーンの呼び掛けをしている。作品展では、全校児童合作の入場門をデザインすることで、一人一人が活躍できる作品展づくりに貢献している。
17	なごや小	なごや小学校 児童会	「自分たちで自分たちの学校をよりよくする」ために、委員会児童がボランティア活動や認め合い活動の促進をしたり、行事の改善を行ったりするなど、「子ども中心の学び」となる学校づくりに貢献した。
18	栄生小	栄生小学校 代表委員会	思いやりあふれる学校を目指すために、代表委員としてスローガンを話し合い、決定し、それを全校朝会で発表した。縦割り活動や全校集会で行う活動を提案し、みんなが楽しめる活動を企画・運営している。

番号	校名	団体名	表彰内容
19	児玉小	児玉小学校 代表委員会	異学年交流としてペア集会を企画し、子どもたちが主体的になって遊びを考え、実行することに貢献した。低学年の子たちの考えも聞き、みんなで楽しめる活動にすることで、学年を越えた仲間意識を育てている。
20	南押切小	南押切小学校 児童会	「あなたもわたしもみんな大切」を合い言葉に、「あいさつ活動」に取り組んだり、縦割り班活動による「なかよし誕生日会」を計画したりすることで、児童の温かな人間関係や主体的な態度を育むことに貢献している。
21	山田小	山田小学校 代表委員会	校訓である「やる気・まえ向き・だれとでも」をモットーに、月に1回実施している「あいさつ運動」や赤い羽根、緑の羽根の募金活動に力を入れて取り組んだ。全校児童の挨拶する意識を高めることに貢献している。
22	比良小	比良小学校 児童会	スローガンを「あいさつで つなげよう あかるい えがお」と設定し、その実現に向け挨拶運動や「ひらHOT ホッと週間」などに取り組んだ。全校児童が明るく笑顔で生活できるように、積極的に活動している。
23	比良西小	比良西小学校 児童会	挨拶運動や募金活動に積極的に取り組み、学校全体の規範となっている。様々な場面で挨拶できる児童が増え、登校途中でも地域の方に挨拶したり、募金活動では自分たちでできる地域への貢献に取り組んだりしている。
24	豊臣小	豊臣小学校 児童会	元気で仲の良い学校を目指して、「笑顔いっぱい豊臣っ子」というスローガンを考えた。学校独自のキャラクターを取り入れて作成したたすきを、挨拶運動等で活用し、明るく活気あふれる学校づくりに貢献した。
25	岩塚小	岩塚小学校 児童会 各種委員会	4～6年生の児童が毎朝門に立ち、「あいさつ運動」に取り組んだ。児童と児童、児童と教師、児童と地域のつながりを強めようと力を注いだ。「ペア活動」なども活発に行い、交流を深めることに大きく貢献している。
26	稲西小	稲西小学校 代表委員会	縦割り活動「なかよし遠足」では、遊びの内容や時間配分などを熟考し、異学年のつながりを深める活動を計画した。日頃から挨拶の大切さを全校に発信し、挨拶運動を通して児童の仲間意識や思いやりの心を高めている。
27	松原小	松原小学校 児童会	毎朝の挨拶運動や募金活動の呼び掛けに取り組んだり、「子ども中心朝会」では、体育館への児童の引率や朝会の運営を児童のみで行ったりしており、児童同士の関わり合いを通して主体的な児童会運営をしている。

番号	校名	団体名	表彰内容
28	平和小	平和小学校 児童会	毎朝、校門で挨拶運動を行い、全校児童に笑顔で関わる活動を推進した。みんなが楽しく挨拶できるよう、工夫した挨拶グッズを作り、意欲的に活動した。人とのつながりを大切にした学校づくりに貢献した。
29	大須小	大須小学校 代表・企画委員会	「勝っても負けても最高の運動会」のスローガンの下、全員が楽しめる全校種目のルールを考えた。また、総合的な学習の時間に行うプロジェクト型学習の愛称を考え、児童が楽しいと感じる学校づくりに貢献した。
30	白山中	白山中学校 生徒会	生徒会スローガンを学校努力点と全学年の学年目標を意識した「咲かせ君の笑顔～きらめけ その個性 みんなの輪～」とした。生徒が主体的に取り組む行事を企画・運営し、全校生徒の絆が深まる活動に取り組んでいる。
31	松栄小	松栄小学校 代表委員会	よりよい学校にしたい、全校児童が楽しく学校に通えるようにしたいという思いをもち、ペア学年による活動を行いたいと考えた。活動の内容や進め方を考え、全校児童に向けて積極的に告知を行った。
32	御器所小	御器所小学校 代表委員会	児童が気持ちのよい挨拶ができるように「あいさつ運動」を行った。「御器所ゲームラリー」「御器所小ひまわりの日」など、全校児童の気持ちが前向きになる企画を考え、楽しく活気ある学校づくりに貢献した。
33	広路小	広路小学校 代表委員会	仲間とのつながりを大切にした挨拶運動と異年齢交流活動を学校の先頭に立ち実施している。夢中になって活動できる工夫や低学年の意見を反映できるようにするなど全児童の参画意識を高めることに貢献している。
34	川原小	川原小学校 代表委員会	みんなが明るく楽しい学校生活を送れるように活動している。特に朝の挨拶運動では、毎週水、木、金曜日に校門に立ち大きな声で挨拶をしている。その活動が学校全体によい影響を及ぼし、明るい学校へとつながっている。
35	北山中	北山中学校 生徒会	誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指し、生徒の思いを聞くための意見箱を設置した。投書された意見を生徒議会で話し合い、校則を見直す活動を行っている。よりよい学校生活を目指した模範的な活動である。
36	穂波小	穂波小学校 児童会	みんなが楽しく元気になるキャラクター「いなほちゃん」という新しいキャラクターを作った。全校児童が参加する「いなほなフェスティバル」を企画し、異学年の児童が交流を深める場をつくることができた。

番号	校名	団体名	表彰内容
37	陽明小	陽明小学校 児童会	校内の募金活動や環境学習の啓発活動をクイズや寸劇を交えて実施し、全校児童の活動意欲を大いに高めることができた。「ふたばの子フレンドフェス」を企画し、異学年による協働的な関わりを推進している。
38	高蔵小	高蔵小学校 代表委員会	挨拶いっぱいな学校にするため、進んで挨拶できるように声を掛け合う啓発活動を行った。ペア学年で行う「なかよしフェスタ」では、出し物を紹介し合う児童集会を計画し、笑顔いっぱいな学校づくりに貢献した。
39	旗屋小	旗屋小学校 児童会	児童会が掲げる14の行動目標の周知するとともに、本年度のテーマ「つながり」を意識して、「自己紹介じゃんけん」などを企画、運営した。児童一人一人の意識を高め、学校全体が一致団結し、活気ある雰囲気になった。
40	船方小	船方小学校 児童会	緑の羽根の募金活動と同時に挨拶運動を行うことにより互いを認め合う学校生活の活性化を図った。1年生から6年生までが、互いに仲良くなるための児童集会や校内クイズ大会などを企画・運営することができた。
41	白鳥小	白鳥小学校 代表委員会	思いやりのある、よりよい学校にするために「スマイル」をスローガンに掲げた。月に3回、笑顔で挨拶運動をしたり、児童集会では、ポスター作りや寸劇の発表したりして、全校児童が楽しめるようにした。
42	露橋小	露橋小学校 代表委員会	学校スローガンである「元気に登校・笑顔で下校」をもとに、「全員が元気で仲良く過ごせる学校」という目標を立て、異学年交流会や挨拶運動などに主体的に取り組み、よりよい学校づくりに貢献した。
43	八熊小	八熊小学校 代表委員会	ペア集会やお楽しみ会を進んで企画し、異年齢交流が活発になるよう、ゲームや進行を工夫した。交流により学校生活の様々な場面で児童同士の温かい関わりが増え、安心して登校できる学校づくりに貢献した。
44	昭和橋小	昭和橋小学校 代表委員会	挨拶週間には、代表委員全員でオリジナルTシャツを着て、児童や地域の方への挨拶活動を精力的に行った。特技を紹介する「S-1グランプリ」の実施や「なごやINGキャンペーン」の啓発活動に取り組んだ。
45	常磐小	常磐小学校 代表委員会	「あい・あい・あいさつ活動」では、PTAに参加を呼び掛けるチラシを作成した。保護者や教職員とともに明るく元気に挨拶を行い、全校児童が挨拶をする気持ちよさ、大切さについて考える機会をつくった。

番号	校名	団体名	表彰内容
46	正色小	正色小学校 児童会	「フレンドリータイム」や「班対抗オリエンテーリング」「夏祭り集会」の企画・運営を通して、縦割り班活動の充実を図った。児童間のコミュニケーションを促進させ、仲を深め、共生・協働の意識を高めた。
47	戸田小	戸田小学校 児童会	「スマイル チャレンジ エンジョイ みんなで育てよう ゆめの芽」をスローガンに掲げ、全校児童が安全かつ楽しく学校生活を送れるように、様々な活動を企画、実施し、よりよい学校へしていこうとした。
48	中島小	中島小学校 代表委員会	挨拶や募金の意義を全校児童に伝えながら、挨拶運動や緑の募金活動に積極的に取り組んだ。また、リサイクル促進と医療支援の啓発のために「エコキャップ運動」に全校児童を巻き込んで取り組んだ。
49	西中島小	西中島小学校 児童会	校内での募金活動や、全校児童集会の企画・運営に意欲的に取り組んだ。全校児童集会では、児童会役員がそれぞれの持ち味を生かしながら協力して盛り上げ、親和的な雰囲気のある学校づくりに力を尽くした。
50	中川小	中川小学校 図書委員会	読書習慣の啓発活動を行っている。学級での読み聞かせや、全校に向けて図書に関わるクイズづくりを行った。休み時間には、図書室の整理、低学年への声掛けを行い、安心して本に親しめる環境づくりに努めている。
51	小碓小	小碓小学校 代表委員会	「あったか小碓」を合言葉に毎朝、挨拶活動を行い、笑顔あふれる学校づくりに貢献している。「小碓っ子フェスティバル」では、ねらいや取り組み方を全校児童に伝え、活気のある行事とすることができた。
52	西築地小	西築地小学校 児童会	心も体も元気な西つきじっ子」をスローガンに掲げ、「ぼかぼかキャンペーン」という学年を超えたつながりや居場所づくりのための活動を考え、全校児童の学校生活への意欲を高めることに貢献している。
53	高木小	高木小学校 代表委員会	「いっしょにかがやく高木っ子」をスローガンに掲げ、挨拶活動と異学年交流に進んで取り組んでいる。各委員会とも連携し、児童が自分事として学校の諸問題を解決しようとする意識を高めることに貢献している。
54	南陽小	南陽小学校 代表委員会	「笑顔が光る1番の流れ星」をスローガンに掲げ、自分たちで今できることを積極的に考えた。「あいさつ運動」や学校全体が笑顔にあふれる取り組みを意欲的に行うことで、全児童の意欲高揚に大きく貢献している。

番号	校名	団体名	表彰内容
55	稲永小	稲永小学校 児童会	毎週委員長会議を開催し、学校の様子を共有し、取り組むべき活動について話し合っている。全校児童に周知すべき内容をホワイトボードに記載し、掲示や放送で呼び掛け、明るく前向きな学校づくりに貢献している。
56	野跡小	野跡小学校 児童会	「学校をよりよくしたい」という思いで主体的に活動している。「けんかをなくそう動画」や「応援団振り付け動画」を作成し、全校児童が楽しく生活できるように働き掛けている。笑顔あふれる学校づくりに貢献している。
57	神宮寺小	神宮寺小学校 児童会	より楽しく豊かな学校生活を目指し、縦割り活動班での企画・運営をした。「校内ウォークラリー」や「みんなでピンポン」、「神宮寺スポーツランド」など、児童の笑顔があふれる学校づくりに貢献している。
58	西福田小	西福田小学校 代表委員会	縦割り班による「なかよし集会」や「やさいも集会」、「全校遠足」などの児童会活動を、みんなが仲良くなるように考え、学年の垣根をこえて子ども同士の絆を深める活動に大きく貢献している。
59	福春小	福春小学校 代表委員会	誰もが安心して過ごすことのできる学校を目指し、挨拶運動や教室の環境整備に積極的に取り組んだ。挨拶運動では「あいさつシールを集めよう！」の取組を発案し、自分から挨拶をする児童の増加につながっている。
60	明治小	明治小学校 児童会	「互いを思いやる児童」の実現のために、様々な場面で異学年と交流する機会を企画している。特に1年生が学校生活に一日も早くなじめるようにレクリエーションを企画したり、タブレット講習会を開いたりした。
61	呼続小	呼続小学校 代表委員会	児童集会を工夫して企画・運営することで、明るく楽しい学校づくりに貢献した。「緑の募金運動」では、募金の使われ方を劇化して、募金活動の広報をした。また、「あいさつ運動」を行い、挨拶の啓発に取り組んだ。
62	桜小	桜小学校 代表委員会	校訓「明るい心」を意識した「あいさつ運動」を地域やPTAと共に実行し、進んで挨拶する意識を高めた。また、廊下歩行などの課題を改善するための取り組みも実行し、安全かつ明るい心で生活できるよう貢献した。
63	菊住小	菊住小学校 代表委員会	「菊住ラリー」や「あいさつデー」を通して、学年を超えて交流する機会をつくったり、「委員会報告会」や「児童会だより」で一人一人の児童が学校をつくり上げている意識を高めたりすることに貢献した。

番号	校名	団体名	表彰内容
64	大生小	大生小学校 児童会	「みんなが楽しく通える学校をつくる」をテーマに、各種児童会行事の計画・運営や、募金活動などの社会貢献に、代々取り組んできた。様々な活動において前に立つ姿が、下学年児童のあこがれとなっている。
65	春日野小	春日野小学校 代表委員会	みんなが共に笑顔で生活できる学校を目指して、様々な活動に取り組んでいた。夏休み前には、南警察署の署員と協力し、事件・事故に巻き込まれないための劇を演じることで、未然防止の啓発活動に貢献をした。
66	甘軒家小	甘軒家小学校 児童会	にじっこレンジャーとなり、挨拶の合言葉「にじっこ（にっこり笑顔 自分から進んで 続けて返す 心を込める）」を意識して挨拶ができるように、挨拶運動に取り組み、全校児童にやる気や笑顔を広げている。
67	鳥羽見小	鳥羽見小学校 児童会	元気よく挨拶できる学校を目指して、挨拶運動に取り組んでいる。児童集会では、異学年交流ができるゲームを考え、集会活動を盛り上げた。「明るく元気な」「なかよく力を合わせる」学校づくりに貢献している。
68	白沢小	白沢小学校 保健委員会	休み時間に、放送で熱中症予防を全校に呼び掛けて、帽子の着用や水分補給の啓発をしている。熱中症に関するビンゴやクイズなども行い、全校児童が健康維持できるよう工夫し、主体的に取り組んでいる。
69	本地丘小	本地丘小学校 なかよし委員会	学校行事、全校集会や朝の「あいさつ運動」などの企画・運営をしている。活動を行うことによって、学校にあたたかい風土が生まれ、児童に安心感が生まれ、児童の人間関係形成能力が高まっている。
70	大森北小	大森北小学校 代表委員会	「かがやけ！大森北っ子」をスローガンに「I ☆ (love) 大森北」プロジェクトを企画した。運動会では応援旗のような大きな森を模した掲示物を作成し、心を一つにして応援したいという思いを高めた。
71	鳴海東部小	鳴海東部小学校 児童会	よりよい学校づくりに向け、児童会が主体となって活動している。年間を通して、異年齢集団による集会活動「ペア集会」を実施し、学校全体の絆を深めるとともに、相手を思いやる活動の工夫をしている。
72	有松小	有松小学校 代表委員会	今年度、当該校が開校150周年を迎えるため、皆が学校への親しみや愛着を深め、周年行事を盛り上げるような企画を考えた。皆が楽しく通いやすい、よりよい学校を目指して、意欲的に活動に取り組んでいる。

番号	校名	団体名	表彰内容
73	浦里小	浦里小学校 代表委員会	異学年交流を深めるため、縦割り班活動の企画・運営をした。オリジナルキャラクターを募集した挨拶運動や、言われてうれしい言葉のポスター作成を通して、思いやりの気持ちを高め、いじめの未然防止に貢献した。
74	旭出小	旭出小学校 児童会	「旭出小あいさつ運動」では、児童会の計画委員が中心となって、挨拶を呼び掛け、明るく活気ある学校づくりに努めている。また、校内美化や休み時間の運動啓発など、各委員会組織の活動も活発に行っている。
75	黒石小	黒石小学校 6年生	6年生はグループに分かれて、学校全体のために自分たちができることを計画し実行した。学年を超えて関わり合う場面を通して、互いを認め合い励まし合う学校づくりの中心的役割を果たしている。
76	長根台小	長根台小学校 代表委員会	1年生を迎える会や運動会では、創意工夫を凝らして全児童の所属感や団結力を高めた。また、創立50周年記念行事では司会運営を務め、共同作品を計画するなど中心的な役割を担い、学校を盛り上げている。
77	大高北小	大高北小学校 代表委員会	「認め合える学校」を目指し、異学年交流の中心となって活動し、学習展示会に向けて全校制作を企画した。また、全校児童が楽しく挨拶できるような企画「あいさつビンゴ」を考えて、挨拶を促す活動を実行した。
78	大清水小	大清水小学校 児童会	全校児童が楽しみながら挨拶ができるように、クラス全員でクリアしていく「あいさつミッションビンゴ」を企画し取り組んだ。多くの児童がよりよい挨拶ができるようになり、友達とのつながりを感じることができた。
79	常安小	常安小学校 計画委員会	「いじめをしない、させない、ゆるさない学校」を目指して、毎月、常安小INGキャンペーンを実施した。スタンプラリーで児童が楽しめる活動にしたことで、全校児童のいじめに対する意識を高めることに貢献した。
80	小坂小	小坂小学校 代表委員会	「みんなで協力 みんなが笑顔」をスローガンに掲げ、子どもが主体となる児童会活動に取り組んだ。また、朝会についても、子どもが運営する児童朝会に改め、異学年交流を図る新たなイベントも運営することができた。
81	熊の前小	熊の前小学校 児童会	校訓「まじめに まるく まえむきに」を合言葉に、児童会が中心となって自主的・自治的な取り組みを行っている。登下校の仕方や挨拶についての動画を撮影し、全校に呼び掛け、魅力ある学校づくりに貢献している。

番号	校名	団体名	表彰内容
82	猪高小	猪高小学校 児童会	よりよい挨拶が増えるような企画を工夫したり、登下校を見守ってくださる地域の方への感謝を伝える会を企画したりすることで、多くの児童が明るく元気よく、安全な学校生活を送ることができている。
83	西山小	西山小学校 代議員	毎月実施の「あいさつ週間」では、登校する児童に元気よく挨拶をしている。昼の放送で、特に元気よく、気持ちのよい挨拶ができた児童や分団登校の班を紹介し、進んで挨拶ができる児童の育成に貢献している。
84	藤が丘小	藤が丘小学校 集会委員会	「ナゴヤ学びのコンパス」に基づき、児童が主体的に楽しい学校生活を創造できるように新設された。レクリエーションの企画・運営を通して、児童の交流や自主性を育む機会の提供につながった。他の委員会の模範となり貢献した。
85	猪子石小	猪子石小学校 児童会	元気よく挨拶ができるとカードがもらえる取り組み「あいさつカード」を発案したり、ペア学年が仲良くなれるように「遊ぼう集会」を企画、運営したりすることで、よりよい学校づくりに貢献している。
86	名東小	名東小学校 児童会	仲間との協力をキーワードに、「あいさつ」と「笑顔あふれる学校」を目指して、「あいさつ運動」や異学年交流に取り組んでいる。代表委員と協力し、学校全体に関わる活動を行い、本校教育活動に貢献している。
87	蓬来小	蓬来小学校 代表委員会	「ユニセフ募金」や「よもぎ50周年プロジェクト」の活動は、教育目標「ともに学び 夢を育むよもぎの子」の実現につながっている。社会や学校全体のことを考えて一生懸命に取り組む姿は、全校の模範になっている。
88	貴船小	貴船小学校 児童会	「元気な学校」を目指して毎朝門に立ち、主体的に「あいさつ運動」に取り組んだ。「交通安全を願う会」を企画・運営し、交通安全への意識を高めたり、見守っている人への感謝の気持ちを高めたりした。
89	上社小	上社小学校 児童会	「なごやINGキャンペーン」として、学校のメインキャッチコピーの選定・人権コーナーの設置・標語の掲示など、啓発活動が続けている。また、「安全に明るく過ごそうキャンペーン」など自発的な活動を進んで行った。
90	梅森坂小	梅森坂小学校 児童会	「あいさつ運動」や「緑の羽根募金」などの活動に意欲的に取り組むことで、児童同士のつながりを豊かにすることや、学校や社会をよりよくしていこうという校内の雰囲気づくりに大いに貢献することができた。

番号	校名	団体名	表彰内容
91	北一社小	北一社小学校 代表委員会	ビデオ放送での先生クイズ、全校で行う宝探しや体育館でのレクリエーションなど、児童が楽しんだり、異学年のつながりを深めたりする集会タイムの企画・運営を行った。本校児童の豊かな人間形成に貢献している。
92	八事東小	八事東小学校 児童会	学校目標「L e t ' s T r y ! 『やってみる』を楽しもう」を合い言葉に、ペア活動や「やごひがフェスティバル」の企画運営をし、学校全体に「L e t ' s T r y ! 」を広め、笑顔あふれる学校作りに努めた。
93	平針南小	平針南小学校 代表委員会	挨拶運動や募金活動など、学校全体のことを考え、主体的に活動することができている。異学年同士でペアを組み活動をする「ペア活動」では、全学年が楽しめるように、企画を考え、運営することができた。
94	相生小	相生小学校 児童会	登校時、50周年記念のキャラクターがプリントされたTシャツを着て、手作りの旗を手に積極的に挨拶運動をしている。また、廊下歩行を促す掲示物を作り、全校児童が安全に過ごせるよう呼び掛けている。
95	大坪小	大坪小学校 代表委員会	「ぽかぽか05（ファイブ）デー」を定め、心が温まる言葉を遣えているかどうかを振り返ることができるようにしたり、「あいさつカード」を使った挨拶運動を行ったりして、温かい学校づくりに貢献している。
96	植田南小	植田南小学校 児童会	挨拶活動をしたり、学校スローガンを全校に伝えたりし、毎月一度の「うえみなスマイルデー」でスローガン達成を目指し活動している。活気あるよりよい学校にしたいという思いの基、活発に話し合いを行っている。
97	平針北小	平針北小学校 児童会	「平北を 笑顔で 楽しい色に そめよう」をスローガンに策定した。各委員会では、スローガンを念頭に、歯の健康を推進する活動や、給食に関わる活動等を意欲的に行い、笑顔あふれる学校づくりに貢献した。
98	植田東小	植田東小学校 児童会	「一人一人の色でにじをつくろう～個性あふれる明るい東っ子～」をスローガンに掲げ、全校の個性を大切に活動に貢献している。交流を深めるペア学級活動を企画・運営し、全校で活動できるようにしている。

3 優良教職員表彰（13名）

番号	校名	氏名	表彰内容
1	大和小	加藤 幸枝	保健主事・養護教諭として、教職員や保護者と連携し、健康・安全教育や健康相談活動を円滑に進めている。また、主任養護教諭として、名古屋市のために信念と熱意をもって学校保健・安全活動を遂行しており、名古屋市の健康保健教育に多大な貢献をしている。
2	千種台中	山田 伸広	学年主任として学年集団をしっかりとまとめている。校内では、特にキャリア学習に力を入れている。配置されたキャリアナビゲーターと連携し、中学3年間を見通した全体計画を立て、キャリア学習を進めている。その姿勢は、校内でも高く評価されている。
3	砂田橋小	大坂 佐智子	プロジェクト型学習のカリキュラム作成に尽力し、「自分で考え、行動する児童」を育成している。また、書籍や研修を通して教育に関する理念や指導方法を学び、児童への指導に生かしている。現状にとどまらず、意欲的に学び続けている。
4	光城小	松島 文子	保健主事・養護教諭として、児童の様子や対応を日頃から細かく記録し、担任や管理職と情報を共有することで、児童を体調面だけでなく、心の面からも適切に支援できるようにしている。さらに、主任養護教諭として、名古屋市全体の人材育成にも努めている。
5	橘小	近藤 恭弘	校務主任として、危険な生物・植物への注意喚起を呼び掛ける掲示物の作成、熱中症対策、不審者侵入防止対策等児童の安心・安全な学校生活のために多大な貢献をしている。また、備品の管理や教室の整備などに努め、学校になくてはならない存在である。

番号	校名	氏名	表彰内容
6	村雲小	清水 浩	配慮を要する児童への指導方法を、他の教職員や介助アシスタントへアドバイスし、学校全体の特別支援教育を支えている。特別支援学級の児童への温かい指導・支援、保護者からの質問や相談に対する丁寧な対応等により、地域・保護者から高い信頼も得ている。
7	汐路小	野々山 昌子	学年主任として、他の担任をサポートし生活指導や難しい問題に対して、一緒に解決に努める姿がある。「自分で選び、自分で決める」場を設定した自由進度学習では実践を牽引している。常に献身的な姿勢が学校全体を支え、保護者からの信頼へと繋がっている。
8	沢上中	伊藤 保則	学年主任・国語科主任として生徒指導や教科指導についての的確に指揮し、生徒や保護者の信頼が厚く、学校へ多大な貢献をしている。園芸部顧問として個性豊かな50人余の園芸部員を温かく見守り、充実した活動に導く姿は周りの教職員に良い刺激を与えている。
9	日比野中	田中 久美子	教育相談担当として、事前アンケートの内容の見直しをする等、学校経営に貢献した。担任教諭として、長期欠席生徒へこまめな声かけによる登校支援や、生徒の心に寄り添った温かい言葉掛けによって内省を促したりする姿は他の教員へ好影響を与えている。
10	西福田小	石田 美世子	校務主任として、「見える」を環境整備のキーワードに、使いやすさと安全性を考えながら学校全体の教材教具の配置を工夫している。また、教職員からの相談に真摯に耳を傾け、一緒に解決策を考える姿勢が、教職員からの厚い信頼を得ている。

番号	校名	氏名	表彰内容
11	福田小	西川原 洋美	司書教諭として、本を読みたくなる掲示物の作成や学級文庫の充実を図り、全児童が本に親しめる環境づくりに尽力している。児童へのきめ細やかな指導、新しい指導法を常に学び続ける姿勢、若手教職員を親身にサポートする姿が、後進の道標となっている。
12	白沢小	小林 千加	昨年度は校務主任、本年度は少人数担当として、学校全体に目を配り、若手や中堅教員の育成に努めている。児童の実態把握をし、その情報を的確に伝え、学校全体の教育活動に大きく貢献している。何事にも誠実に取り組むことができ教職員からの信頼が厚い。
13	若宮商業高	加藤 孝広	教務主任、総務主任などの校務分掌の主任を務め、学校運営の中核を担ってきた。また、学年主任として学年団をまとめ上げるなど教職員からの信頼も厚い。商業科教諭として産業教育の振興に献身的に取り組んでおり、生徒が成長する一助にもなっている。

4 優良社会教育関係者表彰（5名）

番号	氏名・役職	表彰内容
1	伊藤 和子 名古屋市地域女性団体連絡協議会 会長 名古屋市社会教育委員協議会 副会長	地域での学習と実践活動に率先して参加し、リーダーとしての人望を集め、平成2年4月に中村区新明学区女性会会長に就任した。その後、平成26年4月より中村区女性団体連絡協議会会長に就任し、優れた指導力・行動力を発揮し、子育て支援や青少年健全育成を旨とする「地域いきいき世話やきおばさん活動」、警察と協働した「交通安全活動」などを積極的に推進し、地域福祉の増進、安心・安全で快適なまちづくりへの取り組みに尽力・貢献してきた。 また、名古屋市地域女性団体連絡協議会においては平成26年より常任理事、平成28年より書記、平成30年より副会長、令和3年より会長に就任し、同協議会の運営に参画している。長年にわたり、学区・区・市女性団体の活動に尽力し、社会教育振興と女性の地位向上を願い活動する姿は他の模範となっている。 このように、本市社会教育の推進における功績は極めて顕著である。
2	清水 敬介 名古屋市立小中学校PTA協議会 相談役 元名古屋市立小中学校PTA協議会 会長、顧問 元名古屋市社会教育委員	平成20、21、28年の3年間、名古屋市立小中学校PTA協議会の副会長を、平成29年から3年間、名古屋市立小中学校PTA協議会の会長を務め、名古屋市教育委員会と連携を図りながら、子どもの安全を見守る全市一斉パトロールやあい・あい・あいさつ活動等に中心となって取り組み、市内PTAの発展に寄与した。 また、令和2年から日本PTA全国協議会理事・専務理事・会長を歴任し、コロナ禍における活動や新しい時代に応じた運営のあり方等、様々な対応が求められる中、全国的なPTA活動にも尽力した。 加えて、令和2年から、名古屋市立小中学校PTA協議会が開催した「PTA活動のあり方検討会」に顧問の立場で参加し、他団体や関係機関との連携を継続する大切さについて他の役員の考えを取りまとめ、今後のPTA活動のあり方を考える上で多大な貢献をしている。令和4年からは相談役として、PTA活動の振興に尽力している。 このように、長年にわたるPTA活動の振興や社会教育をはじめとする本市の教育推進のために尽力した功績は極めて顕著である。

番号	氏名・役職	表彰内容
3	箕輪田 晃 名古屋市体育協会 副会長 名古屋市水泳連盟 名誉顧問	名古屋市体育協会において平成24年から審議員、令和5年からは副会長として、12年間に渡り、本市のスポーツ振興にご尽力いただいている。 また、同じく平成24年から名古屋市水泳連盟会長、令和5年からは名古屋市水泳連盟名誉顧問を務め、平成29年に水泳の日本選手権をガイシアリーナで開催した際には多大なるご尽力をいただいた。 このように、本市のスポーツ振興に大きく貢献され、スポーツによる地域の活性化に寄与してきた功績は極めて顕著である。
4	田辺 正樹 中区体育協会 理事 中区スポーツ推進委員連絡会 会長 名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会 会計	昭和60年から長年にわたりスポーツ推進委員として、また平成6年からは中区体育協会理事として地域の体育・スポーツの振興に貢献してきた。平成28年からは中区スポーツ推進委員連絡会会長に就任し、中区のスポーツ推進委員をとりまとめ、区で開催されるスポーツ大会の運営や指導などに尽力している。さらに令和6年からは、名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会の役員にも就任している。 このように、本市の体育・スポーツの振興に大きく貢献されており、その功績は極めて顕著である。
5	安江 春彦 八事の蝶々保存会 会長	個人での製作や伝承活動に加え、天白生涯学習センターでの講座（天白区役所との共催）をはじめ、地元大学でのイベントや小学校での出前事業、区民まつり等を通し幅広い世代に「八事の蝶々」の製作方法や歴史・文化を伝承し続けている。平成14年の八事の蝶々保存会結成から、その後の地道な活動は、郷土文化の向上に多大なる貢献をしている。 また、教員を退職後、地元学区はじめ区の老人会役員を務め、平成31年には天白区シニアクラブ連合会（当時は天白区老人クラブ連合会）会長に就任し、6年の長きに渡りその優れた人格と見識で、天白区のシニア世代を牽引する存在として活躍している。 このように、郷土玩具「八事の蝶々」に関する伝承活動を通じた地域の学術文化の向上のために尽力した功績は極めて顕著である。